(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号 特表平6-509997

第2部門第5区分

(43)公表日 平成6年(1994)11月10日

(51) Int.Cl.*

B60G 21/06

識別記号

庁内整理番号 8710-3D

FI

審査請求 未請求 (全 9 頁) 予備審査請求 有

(21)出願番号 特願平5-502484

(86) (22)出顧日 平成4年(1992)7月16日 (85)翻訳文提出日 平成6年(1994)1月14日

(86)国際出願番号 PCT/AU92/00362

(87)国際公開番号 WO93/01948

(87)国際公開日 平成5年(1993)2月4日

(31)優先権主張番号 PK7255 (32) 優先日 1991年7月16日

(33) 優先権主張国 オーストラリア (AU)

(31)優先権主張番号 PL0085 (32)優先日 1991年12月18日

(33)優先権主張国 オーストラリア (AU) (71)出願人 タワーヒル ホールディングス ピーティ

ーワイ リミテッド

オーストラリア国 6281 ウエスタン オ ーストラリア ダンスポーロー ピーオー

ポックス 83

(72)発明者 ヘイリング、クリストファー、プライアン

オーストラリア国 6281 ウエスタン オ

ーストラリア ダンスポーロー ピーオー

ポックス 83

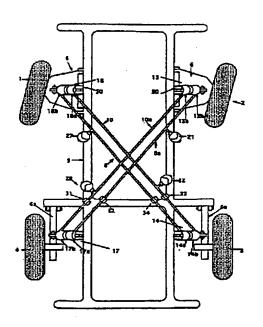
(74)代理人 弁理士 秋元 輝雄

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 車両懸架システム

(57)【要約】

車両の車体(5)に関係なく、各車輪(1, 2, 3, 4) に連結しているダブルアクションラム(13,14, 17, 18) を備え、各ラム (13, 14, 17, 18) は、車輪が車体(5)に対して動くと、ボリュウムが変化 するそれぞれの第1 (13a, 14a, 17a, 18a) と第2(13b, 14b, 17b, 18b)チャンバを 有しているサスペンションをもっている車両。各前車輪 ラム(13, 17)は、配置された、それぞれ一対の導 管(8, 10) と導管(8a, 10a) によって、斜め に向き合っている後車輪ラム(14.17)と接続し、 その結果、一方車輪の第1チャンパ (13a, 18a) が他方の車輪の第2チャンパ (14b, 17b) に接続 する。各第1と第2のチャンバおよび、これらと接続の 導管には、流体が充填され、外部流体および圧力源と独 立している。フロントとリヤのラムを対角線上に接続す ることによって、車両の横方向のローリングと長さ方向 のピッチングとをなくす。



設記した欠点を改める試みに緩慢およびばねレートを可変とするものである。他のより達んだサスペンションシステム(アクティブおよびセミアクティブテスペンション)は、豊富の事論の動き及び家体のローリング、および遊波、加速度、ステアリングコマンドおよび部勤コマンドのような情報をモニターする多数の電子センサーを組み込んでいる。この、および、他のアータは、コンピュータにより処理されて、ペイドロリックのアクチュエータを指示して弾性スプリングのノーマルなファンクションを解釈し、速度、地形および他の要素に合うようにテスペンションパフォーマンスを解釈し、確度し、課節し、水平走行を維持し、事職への重量の写均分配を行う。それが故に、これらのサスペンションシステムは、外部のインテリジェントパックアップシステムを必要とし、サスペンションシステムへの異難を行うアクテュエータを作動するために、車両エンジンから引く外級エネルギーの多くのインプトを要求する。

車両に対するアクティブおよびセミ- アクティブサスペンションの構造 のレンジは、放体の圧縮および/または移動を基礎として動作するシステムを含 めて提案されており、現在使用されているそのようなシステムは、ポンプを組み 込んで、所要の圧力に作動液体を維持し、それの分布を行い、そして相互なコン トロールメカニズムを行い、侵知された道路および/または単四速転条件に応じ でサスペンションシステムの動作を到益する。ポンプおよび電子制御システムを 使用した、これらの低知のシステムは、製造、保守に費用が比較的高くかかり、 エネルギーインプットを必要とし、それがために自動車座業においての受け入れ に割組がある。

米国特許第4、808、551号におけるように、ダンピングシステムをコンペンショナルなスプリングサスペンションと併用する提案がなされており、ここでは、健々の車輪と関連する液体接衝袋壁が接続されて、彼ローリングと及き方向ピッチングの間に抽動的な疑問作用が提供される。これらの構造は、緩衝パフェーマンスを改善するのに役立っているが、ペーシックなスプリングサスペンションの変変しい特性、ばね力の急速な前途的な変化の望ましい特性が選載分布に不要な変化をもたらし、車輪の動きに放送として無限が残っている。

それが故に、本交明の目的は、コンペンショナルなスプリング要素の使

方向へ動かそうする背重がかかると、対角線上に向かい合っている車輪が同じ方向へ動こうとする状態を結果する。原向に車体のローリングまたはビッチングを導き、それによって、ビッチングの場合は、二つの前車輪または二つの後車輪に対する荷重が増え、または、ローリングの場合、最高の同じ側の一つの前車輪と一つの後車輪に対する荷重が増える動作状態においては、ここに提案の構造は、斜めに向き合っている車輪が反対方向への動きを規制され、同じ方向への動きを制限されているようにコントロールされていることにより、ビッチングまたはローリングを切けする。

各回路に組み込まれたラムからの資体の移動を少なくとも部分的に関節するために、各資体回路には、少なくとも一つの圧力アキュムレータを設けることが呼ましい。さらにはしくは、各回路における少なくとも一つの圧力アキュムレータが取両の斜めに向き合っているラムのチャンパを接続することが呼ましい。アキュムレータは、コンベンショナルなチスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションシステムに保険力を与える。

洗体が圧縮可能であるサスペンションの実施例においては、媒体自体が アキュムレータとして作用するので、アキュムレータは、必要ではない。

二つの液体回路の間に動作可能に介在し、二つの回路における圧力を実 質的に等しくし、これによって、各車値の荷重を実質的に等しくする手段を設け ることが好ましい。

さらに詳しくは、前記手段は、クローズされた二つのチャンパを得え、 それぞれがそれぞれのピストンにより二つのミナーなチャンパに分かれ、終ピストンは、それぞれのクローズされたチャンパ内を一致して動くように連結されている。それぞれのピストンの同じ例のマイナーなテャンパは、前記回路の第1と第2の導管にそれぞれ接続し、これによって、使用時、ピストンは、二つの回路の圧力を等しくさせるように、それぞれのクローズされたチャンパ内で位置するものである。

車がノーマルな遠路を走行するとき、車体に対する車輪の動きは、小さ く、通常、高いフリケンシーであり、ラムチャンパ間に弦体の移動があれば、値 用をなくし、動作中、コントロールされた外部エネルギーインプァトを必要としない全体体サスペンションを採用したサスペンションンステムを提供することにあり、それは、拘束されないアクスル関地運動を与える一方、ローリング生ビッテング運動を最低のものとし、比較的単純な環境と効果的な作動とを有するものである。

考慮された、この目的によって、本意朝により、荷重支持取体、単体に連結して、これを支持する一対のフロント接地車職と一対のリヤ接地車職であって、各車職は、限ね豊国方向に単体に対して移動できる車職、各車職と単体との間を適請するダブルアクションの風体ラムであって、各ラムがラムピストンの阿護に第1と第2の旋体が充填されたテャンパを含むラム、それぞれの車職と単体との間の垂直方向の動きに対応してポリュームを変える朝起第1と第2のチャンパ、技体準通導管のそれぞれの一対により対角部状に対向している役車職ラムに接続している各前車職ラム、初車職ラムの第1のチャンパを技車論ラムの第2のチャンパに接続する前配一対の導管の第1のものと、便車職のラムの第2のチャンパに接続する前配一対の導管の第2のものを育し、導管の各対と、それらによって接続の前型で動きと集業がそれぞれの回路を構成し、各回起回路は、保性作用をもち、結果としての圧力変化により移回路を移動する版体を開助し、前配回路が単体の機方向のロールを理動と単体の長さ方向のビッチング運動をともになくすように根底されている車両が提供される。

独立した抗体回路による車両の対角線状に対向するラムの相互に連結された一対の相互作用は、車が曲がるとき、特に、速度を出して血がるときに過度 連過する単体の機ロールを抑止し、さらにまた、車の制動時または加速時に達遇 するような前後長き方向のビッチングを抑止する。

対角線状に連結された前後車輪のラムの間での圧力がパランスした状態 での流体は体の伝達は、スプリング付勢されていない車輪アッセンブリーに関し で、車両の変化する関節かのうな支持機構を付与する適当なラムの伸輪によって 体をレベル化し、安定させる。

前記したように、対角線上に対向する単純のラムを相互連結する施体図 路を設けることによって、いずれか一つの車輪に、弦車輪を車体に対し、一つの

かではあるが、接続の回路において、アキュムレータへ液体が移動して舞踊されて、該回路における圧力に変化が生ずる。

しかしながら、京がオフロードにあり、および/あるいはビッチングまたはローリングが発生するようなとき、大きく、比較的低いフリケンシーの収録の動きを経験し、これらは、次体の一部が回路の合成的な圧力上昇を伴ってアキュムレータへ入り、そのはかの次体が回路における他のラムチャンパへ入ることによって最初問題され、放回路によってコントロールされている他の車輪の動きを結婚する。僅かな時間をおいて、京体に対する車輪の垂直位置が新たに安定し、その結果、車体は、限力水平となるか、または、接所する面も全体の傾斜に対し、

他のシステムとは異なり、ローリングとピッチングとをなくし、単体レベルを立て直すことは、ポンプ、コンプレッテーまたは場合によっては、エンジンまたは外部動力源からエネルギーを引き出してサスペンションシステュへインプットすることなく、圧力トランステューサならびに電気ソレノイドパルブ、ポンプ、コンプレッテーを制御する一つまたはそれ以上のBCUへ情報を供給する他のパフォーマンスモニクリング装置の必要性またはアキュムレータから加圧された技体をコントロールしながら訳放する必要ももなしに、ここに授業された提出において決成される。

前記した原南ナスペンションは、車輪の走りがプログレッシブな弾性サスペンション機構によって全く制御されないもので、すべての車輪が凹凸の散しい地形に自由に頭底できる点で、原知のシステムと異なる。 法体回路における圧力と容積変化の相互作用が車輪の走行運動の許容疑問を不当に制限することなく、実質的に平均された車温と姿勢とを保つ。 きらに、個々の液体回路によって、互いに直結されている斜めに向き合う車輪の間に、先側のない動作関係があり、これが平体に集中的に作用してスプリングのようなコンペンショナルな弾性部最を不要とする。スプリングが装備されていれば、それらは、ダイナミックな衝撃を吸収し、接觸するようにアレンジされることができるのみであって、平坦でない道路または地形による車輪の動きの電波を禁止できない。

上記した要様における単純に支持された単両は、通常、単純と単体の間

錯束の疑囲

- 1. 育童支持率体、車体に連結して、これを支持する一対のフロント接 地車輪と一対のサヤ技地車輪であって、各車輪は、便知豊直方向に点体に対して 移動できる車輪、各車輪と単体との間を連結するダブルアクションの液体ラムで あって、各ラムがラムビストンの阿慮に第1と第2の液体が充填されたチャンパ を含むラム、それぞれの車輪と単体との間の壁直方向の動きに対応してポリュー Aを受える何記第1と第2のチャンパ、液体再退滞管のそれぞれの一対により対 角軽状に対向している快車輪ラムに接続している各前車輪ラム、前車輪ラムの第 1のチャンパを使車輪ラムの第2のチャンパに接続する阿記一対の導管の第1の ものと、前車輪のラムの第2のチャンパを接車輪ラムの第1のチャンパに接続する る所記一対の場管の第2のものを有し、導管の各対と、それらによって接続の頼 車輪と映車輪がそれぞれの回路を構成し、各前記回路は、要性作用をもち、結果 としての圧力度化により該回路を移動する数体を異恋し、初記回路が車体の横方 向のロール運動と車体の長き方向のビッチング運動をともになくすように構成されている車両。
- 2. 第1と第2の導管の間に作動可能に介在し、終記回路内の圧力を実 質的に平衡化し、それによって、各車輪への荷金を実質的に平衡化する手段を含 む球水の範囲」に繋次された単純。
- 3. 前足手段は、クローズされた二つのチャンパを備え、それぞれがそれぞれのピストンにより二つのミナーなチャンパに分かれ、族ピストンは、それぞれのクローズされたチャンパ内を一致して動くように連結されている。それぞれのピストンの同じ側のマイナーなチャンパは、朝紀回路の第1と第2の導管にそれぞれ接続し、それぞれのピストンの反対側のマイナーなチャンパは、前紀回路の地の第1と第2の導管にそれぞれ接続し、これによって、使用時、ピストンは、二つの回路の圧力を等しくさせるように、それぞれのクローズされたチャンパ内で位置するものである端末の範囲2に結束された草両。

た単両。

- 4. 各回路の間に依体を移動させ、車両の姿勢を検討上びノをたは長さ 方向にコントロールするように選択的に作動するペルプ手及を含む環次の範囲 1 に確次された車両。
- 5. 各回路内の放体の体験をたは圧力を独立的に変化させ、車両の姿勢を顕むよび/または長さ方向にコントロールするように選択的に作動する手段を含む調水の範囲1に調水された車両。
- 6. パルブ手段が設けられて、第1と第2の回路の各等管をそれぞれの ピストンの両側において大チャンパと選択的に連過させ、それによって、車両の 変勢を援わえびノまたは且さ方向にコントロールするようにした錦衣の範囲3に 原来された車両。
- 7. 各間止されたチャンパ内で研記ピストンを一致させて選択的に移動 させ、各回路内のそれぞれの事間の関に収体を移動させる手段を含む請求の範囲 3または8に請求された事間。
- 8. 各回路は、それと連進している少なくとも一つの圧力アキュムレー タを育している婦本の範囲1から7のいずれかに辞求された車両。
- 各回路の各導管は、それと連避している。それぞれの圧力アキュムレータを有している第次の範囲1から7のいずれかに調求された単同。
- 10. 各回路は、それと連通している二つの圧力アキュムレータを有して おり、その一つは、それぞれの帯管に接続している各流体ラム第1チャンパに接 近している時末の範囲 1 から7 のいずれかに讃求された取開。
- 11. 少なくとも一つの事管は、フロコントロール手段を内蔵し、両方向への統体のフローレートをコントロールする先行請求の範囲いずれかに請求され

明复养

名称 車両駆弾システム

この発明は、車両用懸禁システムに関し、そして、特にスピードを出し て回転するとき、及び平坦でない面を走行するとき、車両本体に対する単純の動 者をコントロールすることに関するものである。

既知の整架システムにおいては、スプリングをたはトーションパーのような弾性手段は、フレキシブルな支持装置へかかる衝撃荷蓋(速い速度での衝撃からのもの)の型収から、平地でない地形を横断するとき、すべての車輪を地面に接地できるようにする多数の機能を行うようになっている。破職物のような付加的にかかる荷鬘は、従来の整架装置を変形させ、動的な荷鬘をたは地形的な荷載と同様な整様で単体と単輪との間に動きを最薄する。

伝統的な弾性スプリングサスペンションは、車両のそれぞれの"コーナー"を被補的に支持する個々の弾性要素が設けられた各車輪アッセンブリーをペースとする。弾性要素は、変形に応じて連やかに前進するロードレートを有し、通常の単周重量は、車輪が集中的にフラットな平面を運行するときは、すべての車輪に分配されるのみである。車両の一つの車輪が陸起場所を通過する(または駐車する)とき、その車輪は、それがフラットな地面で通常支持する車の重量より以上の車重を支持する。一方、隣接の車輪は、通常の重量配分のいくらかが軽された。

急数に前過する弾性スプリングキスペンションシスナムは、動的、参的 および加えられた荷重状況の非常に致いスペクトラムの範囲のみで測足に動作し、原因への再列重または負荷量ですら悪引、平均地上高および乗り心地を維持する能力に避常逆効果を与える。さらに、原知の弾性サスペンションシステムに課せられた要求の範囲は、多様の状況を検知し、想々に反応する箇有の能力に欠知しているので、自己矛盾のパフォーマンス特性に結び付くもので、これによって、共鳴既ね返りを生じ、ショックアブソーパによる過剰な趣情を必要とし、そしてまたアンテロールパーを必要とし、かくして、付勢されていない要素の自由な動きをお関する。

最近での弾性スプリングサスペンションシステムにおけるトレンドは、

に設けられているコンペンシ。ナルなスプリング機構の抵抗に打ち関づことなし
に、単体に対する単純の自由な悪度動きを許す。かくして、単純は、個々の単純
の間の屋の重量配分を過えず変えることなしに、走行する面の起伏にしたがって
自由に動く。重量配分における変化をほとんどなくしたことは、模断走行の面へ
の単純の接地性と単四の授編特性を大幅に改善する。

本見明のいくつかの実用例を感付図面を参照しながら実施例により記述 するものである。

包面において

ないことに注目されたい。

図 1 は、接案の整架システムを取り入れた車両シャーシと車輪アッセンブリーの相談レイアクトである。

図2は、図1に示された製架システムの第1の変形例の液体回路ダイア グラムである。

図3は、想架システムの第2の変形例の統体回路ダイアグラ上である。 図面の図1を参照すると、車両シャーシ5は、それぞれがウイッシュポーン形式の概率輸1。2に対するリンケージ8および核単論3。4に対するトレーリングアーム8aを介して4つの車輪1~4に支持されており、これらの構造はよく知られている。シャーシへ車輪を連結する他のリンケージも好みに応じて使用できる。しかしながら、シャーシと必事輸との間にスプリング、トーションパー、ロールまたはスタビライザーパ又は他の弾性型架要素を介在させる必長が

それぞれのダブルアクションラムがシャーシと各車輪を築シャーシに連結するリンケージらとの間に介在している。図1の左側の車輪におけるフロントおよびリヤのラムは、それぞれ18。17の符号が付され、右側のものには、それぞれ14。13の符号が付されている。それぞれのラムは、シャーシ5に50で連結されたシリンダーとピストンとを育し、ピストンにより、シリンダーが、シリンダー17については、17a、17bで示されている二つのチャンパ、ラム18については、二つのチャンパ18a。18bに分けられている。他の二つのシリンダー13、14は、同じ構造をもち、向機なものとされる。各ラムのピストンは、リンケージらを介してそれぞれの車輪に接続され、その結果、ピスト

、または、ソレノイドバルブのような隔離手段を設け、荷宝を受けているときの これら特定の回路の弾性力を減少させる。付加的に、および、逆に、いずれかの。 回路に多数のアキュムレータを設け、各アキュムレータに異なる圧力を作用させ 、弾性車を段階的に変化させ、異なる荷銭状況に適合させるようにしてもよい。

アキュムレータの口部に観響パルブを設け、別の車両の懸架システムに おける所謂ショックアブソーパと間じ機能を達成させるようにしてもよい。

31.32、33.34のようなフローコントロール装置を回路に設け、 流体を減速させ、 流体の迅速をコントロールして、 享両が荒い地面を横断するとき、大きな車輪の走り動き、および、全ての車輪に対する最適な低接地圧力が 必要になるような低速時にのみ、ラムは、 導管の両端で直接に 導通する。 高速時には、 小さな動的な車輪の走り動きと振動とがアキュムレータによって主として 最終に解決される。

いずれの事智にもフローコントロール装置または他の手段が扱けられ、 関連のラムの間の専管にそう流れを変化させ、停止すらもできるようにしてもよ い。このようなパルブの例は、ソレノイドパルブであって、これはECUにより 作動され、ECUは、加速度計または圧力トランスデューサのようなソースから 受ける度々の情報を処理し、それによって該パルブを即座に閉止したり、後々に 別止したりする。

無限システムの上記構造により、ダブルアクションラム18,14のコントロールのもとにシャーン5に対する車輪1,3の動きが相互決議場官8,10の構成で同じ方向にある。動きは、また、帯管8,10に接続のアキュムレーターへ送られる液体から生ずる差を除いて、ほぼ等しい。車輪4,3についても同じ状態が存在する。

車両の各車軸に関連したそれぞれのウムの間における上記相互作用は、 車両の回転的、特に、速度をもって回転するときのローリングをコントロールし 、車両の制動または加速、特に、急制動または急加速のときのピッチングをコン トロールする。

図2は、図1に関して的配した眼頭システムの好ましい変形例を示す。 .. ダブルアクションラム13、14、17、18と接続導管8、8 a、10、10 ンは、車輪がシャーン 5 に対し、腰ね垂直方向へ動くにつれ、シリンダー内を住 復運動する。

図1.2を参照すると、制めに向かい合うラム18.14は、準管10 により通通した上位チャンパ18aと、下位テャンパ14bとも、停管8を介し で連通の下位チャンパ18b、下位テャンパ14aを有する。同様に、ラム17 、13の上下チャンパは、準管8aによりチャンパ17a.13bと連通し、チャンパ17b.13aは、準管10aにより連貫している。

郷智8、8 a、10、10 aは、シャーン5を支持する4つのデブルアクションラム13、14、17、18を決決し、それぞれは、それと連通する少なくとも一つの圧力アキュムレータ27、21、22、28を育し、従来技術のスプリングテスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションにおける大力の大きなかに変ける大力の一般では、存住は、不要である。図2に示されているように、導管8、10、8 a、10 a それぞれには、23、24、29、30のような付加的なオプショナルなアキュムレータが決けられていることが好ましい。これらのアキュムレータは、装置の場合、より小さく、それに、ラムの下位チャンパに対しサイズと機能がが適合することが好ましく、これによって、下位チャンパ内の版件を連やかに抑出して、アクスルがスラストダウンし、ピストンとぞれらのヘウジングにダメージを与えるするようなショック容置に対する低低を与えるものである。数アキュムレータは、また、回路における原施コスをなくすようにラムの動きのリアクションとりポンスを早くさせることができる。

すべてのアキュムレータは、車両が高速で走行しているときに発生する 早い動的力に直ちに、そして正確に応答できるように、それらの関連したラムに 可能な限り近接して配置されることが好ましい。

上記したテスペンションがクレーンのような正常な遅い速度で動く専両 に設置された場合、各回路にシングルアキュムレータのみを組み込むことが適当 であり、過剰な荷重を受ける回路においては、アキュムレータは、省略されるか

aの基本構成は、図2の懸築システムにおいて、図1に関し記載したものと同一である。したがって、図2における対応部分は、図1.2に使用の符号と同一のもので、製部品の構造と作用は、再び繰り返さない。

図2に示した整架システムの変形例は、荷重分布ユニット40にあり、 被ユニットにより導管8、8 a、10、10 aは、ダイレクトに独立して連通し でいる。荷度配分ユニットは、好ましい形態においては、各端部43、44で閉 止しており、中間の固定盤45で分けられた二つの大チャンパ48、47をもつ シリンドリカルなボア42を備えた本体41を有している。チャンパ48、47で には、それぞれビストン48、48が設けられていて、それぞれのビストンは、 ビストンロッド51に読者され、数ロッドは、シール状態で中間整45を通過し 、本体41の各関止の鍵隔43、44を通過している。

ピストン48、49とピストンロッド51は、4つの容積可変の小チャンパ55、58、57、58を設けたソリンドリカルなポア42内を移動可能であり、小チャンパ55、57は、ピストンの動きに応じて同じ方向に変化し、小チャンパ58、58は、同じピストンの動きに対し、同じ方向であるが、小チャンパ66、57に対し反対の方向に変化する。

型架システムのイニシャルのセッティングアップにおいては、チャンパ 55、58、57、58における弦体は、ピストン48、49がそれぞれの大チャンパ47、48の中央にそれぞれが位置するように顕彰される。このイニシャルのセッティングアップは、事体5を水平または好ましい運転姿勢で:そして、事業に対し好ましい速度高さの状態で行われる。

本両を運転するとき、小チャンパ55,67のネット圧力が小チャンパ58,58のネット圧力よりも大きいと、図2に示すように、ピストン48,4 多を上昇させる力が働き、各ネット圧力にパランスをもたせる。これによって、流体がチャンパ56,58からそれぞれの準管8点,10点に流れ、ダブルアクション低体ラム13,14,17,18すべてにおける圧力をパランスさせ、これによって、4つのすべての車輌1,2,3,4の間の向益分布を、各車輪のシャーン5に対する相対位限に関係機しに均一にする。

各国路の故体の圧力をパランスさせることは、不規則な面の地形を検断

するとも、そして、車輪の動きが比較的低い周波散で在るが、マグニチュードが 大きいときに渡遇するような車輪の位置のパリエーションが比較的大きいときに 特に途成される。そのような運転条件において、撃国の牽引を維持し、車両のは まりころを防ぐために、すべての車輪に等しい荷置を配分するようにすることが 最も望ましい。またそのような条件では、運転者と乗員の快適さを改善し、車両 の機能からの安全性を改善するために、車両の横方向への傾斜を繰らすことが選 要である。上記作用の荷重配分ユニット40は、液体の必要な送りを行って、4 動すべての間の符重配分を等しくし、シャーシの傾斜遠離を挟少させる。

図8は、図2について前記した整想システムの好象しい変形例を示す。 図1、図2に図して記載したダブルアクションラム 13、14、17、18と決 記事智8、8 a、10、10 a は、図3に示す思果システムにおいても関一であ る。したがって、図3における対応部品は、図1、2において使用されたものと 同一の符号が付され、鉄郷品の構造と作用の説明は、繰り返さない。

車両のレベル化は、旅体を高所から貯留高へ旅しながら、東両の下方側 もポンプアップすることで連載される。または、レベル化は、流体を導入するか 、回路から機体を排出するか、きもなければ、回路内にある流体を再度分配する ことで行われる。

図3に示す無疑システムの変形的は、荷鑑配分ユニット40と、毎官8.8.10.10 aとの間を接続するもので、分岐等官80.81.62.83と荷強配分ユニット40との間にマニフォールド76を組み込むものである。図2に関して述べた荷益配分ユニットは、翌42.44と大チャンパ48.47を構成する中間壁45、ピストン48.49とを含み、数ピストンは、ピストンロッド51に経費され、このロッドは、シール状態で中間壁45と本体41の各関止地郎43.44を適遇している。しかしながら、図3に示す荷重分配ユニット40は、別の大チャンパ65を含み、ピストン59を複響したピストンロッド51がこれを通過している。

マニファールド76は、導管60b. 81b. 82b. 83bにより荷 重配分装置40の色チャンパに挟続する分較非常80、61、82、83のそれ ぞれを通すストレートなパスを備える。導管80b、62bは、大チャンパ55

は、駆動されて、荷重レベル化を開始する。

車両の左側を下げ、右側を上げたい場合、流体をポンプ78で小チャンパ75に供給し、事留60、62bを接続させ、導管60b。62を接続させて、チェンフォーパーパルプ82を図3に示す位置におきながら、図3に示すように、ピストンロッド51を上昇させて行われる。単両は、同様に、ピストンロッド51を図3に示すように下降させ、液体を小チャンパ74へ圧退することいて反対方向へロールさせることができる。

同様に、単両の後部を上げたい必要がある場合、マニフォールド内のソ レノイドバルブにより導管83を導管80万に、均管80を導管83万にクロス 接続し、ピストンロッド51を上昇させる。

図3に示す実施例においては、旅体をポンプ78から大チャンパ74、 75へ選択的に従入させて、ピストンロット51を動かすことができ、これは、 ポンプ78がパワーステアリングポンプのように専調に既に超みこまれているポ ンプでよいので使利である。しかしながら、ピストンロッド51は、ソレノイド のような他の手段で選択的に動かすことができ、これによって、付加的な大チャ ンパ85とピストン58およびポンプ78と貯留器77への関連した接続の必要 性をなくすことができる。

必要に応じて、車両が速度をもって走行しているとき。車両の服勢を変化させるために、記録したレベル化装置を高速で動作させる必要が生する点を理解されたい。そのように動作させるとき、荷重配分ユニット40とマニフォールで78内に内蔵の関連したテェンジオーパーパルプは、BCUにより制御されている電子アクテュエータによりコントロールされ、BCUは、適当なセンサで単岡の運転状況をモニターする。この場合、荷重分布と麻両レベル化理能を分離することが通常好ましく、これらのプロセスは、互いに影響し合うことなく、同時に発生する。

磁々の実施例に関し記載したアキュムレータは、一般には、ダンパーパ ルブを備えているが、発明のニューマチックパージョンは、弾性手段自体として チャンパと挟起導管のポリュウムを使用し、アキュムレーターに通常組みこまれ ているダンパーは、それが故に、利用できない。したがって、別個のダンパーユ ,56それぞれに接続し、専習81b、63bは、ホチャンパ57、58に接続している。マニフォールド76には、81。82で問題的に示されている二つのチェンジオーパーパルブが設けられている。チェンジオーパーパルブ81は、専管61、81b。63。63bに関して作用し、パルブ82は、導管60、80bおよび82、82bの間で作用する。チェンジオーパーパルブ81、82のそれぞれは、運転者により操作されるか、または、感知された単の運転条件に応じて自動的に操作される。チェンジオーパーパルブは、ソレノイド操作が便宜的である。

図解によれば、図3に示されたチェンジオーパーパルブ81は、クロスオーパーモードにあって、導管80は、導管82とと連通し、導管82は、導管80とと連通する。チェンジオーパーパルブ80は、接続された準管81。81 しと、接続された準管83、83ととストレートな連頭モードにある。

別の大チャンパ65に形成された付加的な小チャンパ74, 75は、マニフォールド78と導管70, 70トおよび71, 71トとを介してポンプ78 および液体貯留置77それぞれに接続し、復者は、統体をポンプ78に供給する。マニフォールド76は、また、ソレノイド動作のチョンジオーパーパルブ83を備え、これは、液体をチャンパ74, 75の両者へ圧送し、他方から貯留器77へ戻す。また、パルブ83がショートサーキット事替70, 71に作用し、同時に、大チャンパ74, 75を直結し、これによってピストン56は、ピストンロッド51の動きも邪魔しない。チェンジオーパーパルブ83は、返転名手動使作または自動操作である。

車両が通常の走行使用のとき、車輪による有面負担は、新記したように、圧力と成体ポリュウムを再分配することで行われ、それがために、マニフォールド78内のソレノイドベルブは、統体が関連の耐度分配ユニット40と関連の回路とを図2に関して述べたように自由に行き来する位置にある。そのような動作の間、チェンジオーバーパルブ83は、チャンパ74。75が直結し、ポンプ78、貯留面77から隔離した位置にある。

しかしながら、東南の一端または一側を上下させるようになる卓両への 存重がかかり、または、荷重が験かれると、チェンジオーパーパルブ81。82

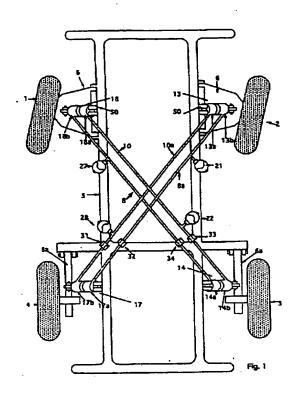
ニットをラムと並列に取けることが必要である。これらは、春週のテレスコピックショックアプソーパーのものであり、個々の手段でラムに組み込めることができる。

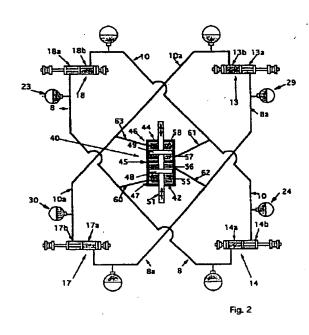
ダブルアクションウムは、リジッドなシリンダーと可動ピストンタイプ 以外のものでもよく、例えば、リジッドのションダータイプに設けられているよ うなシールを必要としないフレキシブルなペローズタイプのものでもよい。

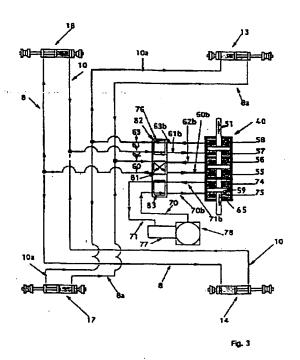
リークフリーのベロータイプのものは、ポンプのようなリークした液体 を反す管理を不受とするが、普通のダブルアクションラムを使用する場合、液体 の離れの結果、必要となる車両の持ち上げ、レベル化および思想の変化または補 正を行うためにポンプ、コンプレッサー、アキュムレータまたは他の動力原を含 むことはオブシッナルに通常であり、便利である。ある棚の車両には、異なった 高さで、可変の高さで走行できる能力が要求される。これらのパリエーションは 、型塚システムにおいて、そのような装置がすでに知られているので、詳しくは 、図示または記載しないものであり、それらは、ここに記載の型塚システムに簡 単に適用でき、袋做できる。

多数のアクスルの車両は、この免明のパリェーションを利用でき、これらもまた、この免明の範囲内にあるものとして認められるものであることをまた 理解されたい。さらに、二つの回路以上の回路からなるリンクしたナスペンショ ンシステムは、記載した技術を育効に扱み込めることができ、したがって、これ らのパリエーションは、また、範囲内に含まれる。

BEST AVAILABLE COPY







補正者の類訳文提出書

特許庁長官 股

平成6年1月14日

1、国族出籍参号

PCT/AU82/00362

2. 発明の名称

- 東西型架システム

3. 特許出職人

住所 オーストラリア国 8281 ウエスタン

k タワートシ セールディングス ピーティーワイ

りミテッド

国 籍 オーストラリア国

4.代理人

住 所 東京都港区南青山一丁目1番1号

〒107 電話34.75-1501例

氏名 (6222)弁理士 秋 元 輝 趣

特正費の提出年月日
 1983年4月28日

6、 添付書類の目録

(1) 補正者の翻訳文

等 計 庁 - 6.1.14 677出新玄 用をなくし、動作中、コントロールされた外配エネルギーインブットを必要としない全体体サスペンションを採用したサスペンションシステムを接続することにあり、それは、陶菓されないアクスル図節運動を与える一方、ローリング型ピッチング運動を最低のものとし、比較的単純な構造と効果的な作動とを有するものである。

考慮された。この目的によって、本際間により、衛金をは取体、定体に 連結して、これを支持する一対のフロント接触車輪と一対のリヤ接地車輪であっ て、各単輪は、疫ね量減方向に単体に対して移動できる車輪、各車輪と単体との 間を連結するダブルアクションの流体ラムであって、各ラムがラムピストンの河 婦に第1と第2の液体が充地されたチャンパを含むラム、それぞれの皮質と食体 との間の発査方向の動きに対応してポリュームを変える前記第1と第2のチェン パ、液体導張導管のそれぞれの一対により対角線状に対向している後率輪ラムに 接続している色前車輪ラム、前車輪ラムの第1のチャンパを後車輪ラムの第2の チャンパに接続する前記一対の導管の第1のものと、前車輪のラムの第2のチャ ンパを独革論ラムの第1のチャンパに控除する前紀一対の事情の第2のものを存 し、基準の各対と、それらによって接続の資本値と決定論がそれぞれの原数を持 成し、第1と第2の導管の間に作動可能に介在し、前記回路内の圧力を実質的に 平衡化し、それによって、各車輪への荷重を実質的に平衡化する手段および各各 前記回路は、弾性作用をもち、結果としての圧力変化により該回路を移動する法 体を刺激し、各前記回路は、外部依体と圧力減と独立して作用し、そして、病之 回路が草体の横方向のロール運動と車体の長さ方向のピッチング運動をともにな くすように構成されている東西が提供される。

独立した液体回路による取詞の対角線上に対向するラムの相互に連結された一対の相互作用は、車が曲がるとき、特に、速度を出して曲がるときに過常 連遇する車体の機ロールを抑止し、さらにまた、車の割動時または加速時に遭遇 するような前後長ま万向のビッチングを抑止する。

対角線状に連結された前後率輪のラムの間での圧力がパランスした状態での液体媒体の伝達は、スプリング付勢されていない車輪アッセンブリーに関して、車両の変化する興節かのうな支持機構を付与する適当なラムの体盤によって

く、通常、高いフリケンシーであり、ラムチャンパ間に旋体の移動があれば、便

体モレベル化し、安定させる。

前記したように、対角盤上に対向する車輪のラムを相互連結する次体回 路を設けることによって、いずれか一つの収値に、放車輪を車体に対し、一つの 方向へ動かそうする両重がかかると、対角器上に向かい合っている車輪が同じ方 向へ動こうとする状態を結果する。車両に車体のローリングまたはピッチングを 夢き、それによって、ピッチングの場合は、二つの前車輪または二つの数車輪に 対する材重が増え、または、ローリングの場合。車両の同じ側の一つの前車輪と 一つの便車輪に対する荷重が増える動作状態においては、ここと提案の構造は、 斜めに向き合っている車輪が反対方向への動きを規解され、同じ方向への動きを 制度されているようにコントロールされていることにより、ピッチングをたはロ ーリングを抑止する。

各回路に組み込まれたラムからの液体の移動を少なくとも部分的に調節するために、各族体回路には、少なくとも一つの圧力アキュムレータを設けることが好ましい。さらに詳しくは、各回路における少なくとも一つの圧力アキュムレータが専両の朝心に向き合っているラムのティンパを接続することが好ましい。アキュムレータは、コンペンショナルなヤスペンションにおけるスプリングのように、サスペンションシステムに弾性力を与える。

液体が圧縮可能であるチスペンションの実施例においては、媒体自体が アキュムレータとして作用するので、アキュムレータは、必要ではない。

きらに詳しくは、前記回路の間に作動可能に介在する前記手段は、クローズされた二つのチャンパを備え、それぞれがそれぞれのピストンにより二つの えナーなチャンパに分かれ、該ピストンは、それぞれのクローズされたチャンパ 内を一致して動くように連結されている。それぞれのピストンの同じ側のマイナーなチャンパは、前記回路の第1と第2の爆管にそれぞれ接続し、それぞれのピストンの反対側のマイナーなチャンパは、前記回路の他の第1と第2の爆管にそれぞれ接続し、これによって、便用時、ピストンは、二つの回路の圧力を等しく させるように、それぞれのクローズされたチャンパ内で位置するものである。この構造は、これによって、4つの車輪すべてに実質的に等しい容置を与える。

車がノーマルな遺路を走行するとき、車体に対する車輪の動きは、小き

請求の範囲

- 荷瓜支持単体、単体に連結して、これを支持する一分のファント総 地車輪と一対のリヤ接地車輪であって、各車輪は、概ね垂直方向に単体に対して 移動できる斑輪、各車輪と車体との間を連結するダブルアクションの旋体ラムで あって、各ラムがラムピストンの両端に第1と第2の流体が充填されたチャンパ を含むラム、それぞれの車輪と車体との間の垂直方向の動きに対応してポリュー ムを変える前記第1と第2のチャンパ、液体準温滞管のそれぞれの一対により対 角線状に対向している故事輪ラムに接続している各前車輪ラム、胸球輪ラムの第 1のチャンパを後車輪ラムの第2のチャンパに接続する前記一封の導管の第1の ものと、前車輪のラムの第2のティンパを後半輪ラムの第1のティンパに接続す る前記一封の準管の第2のものを有し、準管の各対と、それらによって接続の前 車輪と後車輪がそれぞれの回路を構成し、第1と第2の導管の間に作動可能に介 在し、前記回路内の圧力を実質的に平衡化し、それによって、各車輪への荷倉を 実質的に平衡化する手段および各各款記回路は、弾性作用をもち、結果としての 圧力変化により鉄回路を移動する旋体を繋撃し、各前記回路は、外部液体と圧力 草と独立して作用し、そして、前記回路が車体の横方向のロール運動と車体の長 さ方向のピッチング運動をともになくすように構成されている車両。
- 2. 第1と第2の事實の間に作動可能に介在する前記手段は、クローズ された二つのチャンパを備え、それぞれがそれぞれのピストンにより二つのミナーなテャンパに分かれ、第ピストンは、それぞれのクローズされたチャンパ内を一致して動くように連結されている。それぞれのピストンの同じ側のマイナーなチャンパは、前起回路の第1と第2の専門にそれぞれ接殺し、それぞれのピストンの反対側のマイナーなチャンパは、前起回路の他の第1と第2の専門にそれぞれ接殺し、これによって、使用時、ピストンは、二つの回路の圧力を等しくさせるように、それぞれのクローズされたチャンパ内で位置するものである調象の範囲1に要求された東南。

BEST AVAILABLE COPY

- 3. 各回路の間に対体を移動させ、車両の姿勢を機力よび/主たは長さ 方向にコントロールするように選択的に作動するパルプ手段を含む解究の範囲 1 に踏まされた専門。
- 4. 各回取内の減体の体験または圧力を独立的に変化させ、車両の安勢 を使むよび/または長さ方向にコントロールするように選択的に作動する手段を 含む請求の範囲しに請求された専用。
- 5. パルブ手数が放けられて、第1と第2の回路の各項者をそれぞれの ピストンの両部において大チャンパと選択的に迅速させ、それによって、車両の 労勢を挟むよび/または長さ方向にコントロールするようにした資本の問題2に 関わるれた形式。
- 8. 各国止されたチャンパ内で抑起ビストンを一致させて連択的た存物 させ、各国国内のそれぞれの導管の間に数体を移動させる手段を含む蓄水の範囲 2または5に確求された専門。
- 7. 各回路は、それと遠遇している少なくとも一つの圧力アキュムレー ナモ打している禁水の範囲 1から6のいずれかに関水された草葉。
- 8. 各回窓の各種智は、それと達通している、それぞれの圧力アキュム レーチを有している第次の範囲1から8のいずれかに請求された原質。
- B. 各回路は、それと連通している二つの圧力アキュムレータを有して おり、その一つは、それぞれの専習に決球している各族はラム第1チャンパに接 近している第次の範囲 1かららのいずれかに第次された専両。
- 10. 少なくとも一つの導管は、フロコントロール手段を内蔵し、両方向へのほはのフローレートをコントロールする先行関求の範囲いずれかに観求され

た東西。

医原用生

۱۸ ماسیایی استاست ۱۸ ماسیایی استاست

Country Cultive of despirition, with triffication, where agreements of the February 1973 (RLAIL TS) A Page 1 Types Advances of Feynes 181032, page 5,		BOLTAGENTS CONSIDERED TO SE RELEVANT	.,
A Squit E These Abstracts of Payers, MEDIZE, page 5, 132. A, 2-625730 (MISSAM MOTORI CD LEGG) 17 May 1990 (17.87, MA) A channel CO. A, 4-507341 (CALLERALT) 10 Aqual 1992 (15.81, E7) A page 1. News 74-87; page 2. News 75-447 and Squites 2 and 3 CO. A, 1-88226 (AUTORIOTIVE PRODUCTS LEGITED) 12 Outship 15977 (13.18.77) 12.18.8777	,,,,,,	Chatter of detailment, well to distance, where appropriate of the retreat pursues	
IF J. A. 1:12729 (HISSAN MOTOR CO LITE) 17 May 1999 (17:07):707 d - James 1	_		
A page 1. lines 54-59; page 2 lines 34-457 and Squeez 2 and 3 (2) A. 148254 (AUTOMOTIVE PRODUCTS LEATTERS) 12 Ontable 1977 (1) J. 10, 77		IP.A. 2-122529 (1655AN MOTOS CO LITZ) 17 My 1999 (17.87.9%)	
(12.00.77)		CO, A., 630361 (CALLEBAUT) 16 April 1953 (16.00.57) page 1. liams 54.00; page 2 liam 59-607 dnn Synon 3 and 3	
A page 1. the S3 to page 2. time 34 and 6 years 1 and 2			i
		(13.00.77) page 1, lain 63 to graps 2, liter 34 and figures 6 and 2	a
		1	1

have heart that annotation of month should be street

a. - c/. s	A. CLASSIFICATION OF BURIDET MATTER CI. MEG IAMS						
	, presidente affigie e la						
-	HOLDS SEARCHED						
			•				
ALIFCA	and the state of t	الشطعة د حسسية باس منه سبب يند ر	. 4. 64				
DER. E	To have seemed during the correspond reserve	من والشاهديم واروقت ليس وليوا وليه أن وشوار					
<u> </u>	MOCTORIOAL22 CONSESSESSES AG NX WATER	YART					
Lampers	Cherno of decement, with inferrior, where a	propriet of the referent passages	Ballyonk to Claim Rs.				
x	FR.A. 1949401 (INDUSTRIAL DEVELOP EXTAIL LEGISLATION IS MAY INSECULATED Figure 1 and 4		L 148				
٠,	GR.A. 200603 (HISLAN MOTOR COMPAINT LTD) 13 June 1979 (13.06.79) Symma 1 and 3; page 3 Sino 43-464 and page 7 Sino 43-40 1						
,	UEA, 753207 (EVEE at als 14 August (97) (64.95.75) V						
E ::	(E) From the contract of the C						
14 - 14	The desired date of the provide by the provide by the provide by the provided						
	1992 (27.08.92)	-8 SF 692 (#8-04-91)	-				
<u> </u>	THE RESERVE						
NEST SUM PATENT OFFICE OF SUS SECTION CAL WEATT TOTAL							
•	Focusing top, on \$6 1000						

From PCT/Cat/CIO Immirration of Both about CD Golg 1992 maps

BEST AVAILABLE COPY

四 译 项 来 我 告

سبخسا چيلسته ۴۰. ۱۹۲۲عدا ۱۹۵

This Assoct lists the leaves "A" publication level peates family members relating to the patent documents, cited in the above-membered international search report. The Assortation Patent Office is in no way liable for these metications which are secrity even for the surpose of information.

Parent Dominion Clind in Search Report	Polant Fundly Museline			
GE.A. 2508062 U1.A. 372247 DE.A. 2123639	DE.A. 2550812 DE.A. 2508323 CH.A. 533183	FR.A. 3400073 FR.A. 202220 FR.A. 204004	US.A. 4239771 02LA. 1235758 FT.A. 962806	
			2200	N MAKE

Person PCT/SSASSMIpmon Revolution of Party and Party and

フロントページの銃き

(81)指定国 EP(AT. BE. CH. DE. DK. ES. FR. GB. GR. IT. LU. MC. N L. SE). AT. AU. BB. BG. BR. CA. C H. CS. DE. DK. ES. FI. GB. HU. JP. KP. KR. LK. LU. MG. MN. MW. NL. NO. PL. RO. RU. SD. SE. US

- 9 -